

＜ 運営推進会議における評価 ＞ ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団 昌栄会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護まさみ
所在地	(〒252-0011) 神奈川県座間市相武台 1-8-23		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・ケアマネージャーと看護師、介護職員が同行訪問することにより、利用者の医療・介護両面に対しても具体的な説明が家族に行える。
- ・利用者に対し看護師と介護職員が同時に係る時間を設けることで、利用者に係る際や体調管理、介助方法で注意すべきことを指導でき介護職員の育成に繋がっている。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 12 月 20 日	従業者等自己評価 実施人数	(20) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	----------	---------

運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 2 月 22 日	出席人数 (合計)	(5) 人	※自事業所職員を含む
-----	--------------------	-----------	---------	------------

出席者（内訳）	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員（ 1 人） <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員（ 1 人） <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員（ 1 人） <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者（ 1 人）
	<input checked="" type="checkbox"/> 民生委員（ 1 人） <input type="checkbox"/> 利用者（ ____人） <input type="checkbox"/> 利用者の家族（ ____人） <input type="checkbox"/> 知見を有する者（ ____人） <input type="checkbox"/> その他（ ____人）

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
			自己評価	運営推進会議における意見等
1. 事業運営の評価 （評価項目 1～10）	医療ニーズ（看取りも含めた）看護体制の強化については、新しい媒体を増やし看護師獲得に繋げる。	紹介会社を中心に媒体数を増やし、就労条件等が合致する求職者と多く交渉ができる環境に力を入れた。	10月に看護師1名採用。 訪問看護に多く携わるよう、配置。	・看護師さんが不足の中、職員採用は大変だったことと思います。 ・必要な人員の確保に対し、的確な取り組みを実施されていると感じられます。

II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)	利用者、家族のアセスメント、利用中の変化に伴う計画や日々の過ごし方に対し、都度、事業所内の多職種で見直しを図れている。関係各所との連携も過不足なく行えている。	新規利用者のサービス開始直後の訪問は看護師、介護職員の2名体制で提供。途中から訪問頻度が増えた場合も同様に定着するまでは2名体制で実施。	介護職員のスキルアップにおいて、看護師との同行は、観察する点や理由付けも含めて実践から得られることが多い。利用者一人一人の関わりが次の利用者へ反映できる。	・看護師、介護職員の連携の大切さと安心感は利用者の方の安心信頼に繋がると思います。 ・今後も継続して下さい。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)	多機関としては、特に訪問診療の先生方とは指示書等の文書だけでなく、往診時に本人、家族を交えて綿密な打ち合わせを行っていく。	新規利用開始直後、既存の利用者においても、家族の理解力等も踏まえ、往診時にケアマネージャーまたは看護師が立ち合い、指示や処方変更に即時対応した。	受診時の立ち合いは主治医への情報提供とその場での相談。また利用者、家族の不安感を軽減するための取り組みとして必要な時間と評価している。	・利用者、家族の不安感を軽減する対応として良い取り組みだと思えます。

<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	<p>① I.事業運営の評価同様、医療ニーズにおける看護体制が不十分であった。</p> <p>②地域への参画は、コロナ禍を踏まえリモートを駆使し交流機会を途絶えることがないよう工夫ができた。</p> <p>③介護相談会の企画は、希望者がいなかったことにより、実績は作れなかったが、企画そのものは次年度も継続し情報を発信し続けたい。</p>	<p>① 紹介会社を中心に媒体数を増やし、就労条件等が合致する求職者と多く交渉ができる環境に力を入れた。</p> <p>② 今年度より座間市地域密着型通所介護の連絡会が開催され出席。</p> <p>③ 相武台病院院内において相談会の案内を掲示。</p>	<p>①10月に看護師1名採用。</p> <p>訪問看護に多く携わるよう、配置。</p> <p>②事業所毎の取り組みや課題など、意見交換の場となった。</p> <p>③希望、問い合わせなく未実施であった。</p>	<p>①訪問看護に多く配置できることは安心して暮らせるまちづくりへ期待できることだと思います。</p> <p>②③次年度も積極的に取り組んで下さい。</p>
---	---	--	--	--

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>Ⅰ. 事業運営の評価同様、医療ニーズにおける看護体制が不十分であった。看護体制の充実と看取りの実績を重ねることにより幅広く、安心と信頼を獲得したい。採用人事においては新たな媒体を増やし看護師獲得に繋げる。</p>	<p>紹介会社を中心に媒体数を増やし、就労条件等が合致する求職者と多く交渉ができる環境に力を入れた。</p>	<p>オンコール体制を確保するための看護師増員が図れ、訪問看護の経験値を上げるため、日中の訪問看護により多く携われるよう配置。</p>	<p>・人材が不足している中で必要な人材を素早く確保できた点について非常に高い評価ができると考えます。</p>
--------------------------------------	---	--	---	---

※「前回の改善計画」及び「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目	改善計画（案）	運営推進会議における意見等
<p>Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>医療ニーズの面で看護師増員が図れたことによる、オンコール体制の実現、受け入れ幅の拡充に努める。</p>	<p>・今後のサービス提供の更なる発展に期待します。</p>

II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	終末期ケアの実践ができていないことの改善策として、看護師増員が図れたことから、実働に繋がるよう体制整備に努める。	・利用者のご家族にとって終末期のケアは難しい問題だと思う。介護職員看護師の存在はとても重要で努力されていることに感謝したい。 ・看護体制等の整備について、継続して活動していただくことを望みます。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	評価項目 28 に関して、特に家族に対して、準備や案内ができる職員が限定されているため、案内ができる職員を増やすための教育と実践において、在宅生活への移行精度を高める。	・今後に期待します。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	看護体制の充実を図り、医療ニーズの高い方への受け入れ拡充に努める。	・継続して下さい。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	II 1.同様、終末期ケアへの体制確保。		・看取り体制等の整備について、継続して活動いただくことを望みます。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	<p>○ サービスに求められる</p> <p>「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、</p> <p>「②在宅での看取りの支援」、</p> <p>「③生活機能の維持回復」、④</p> <p>家族の負担軽減、</p> <p>「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている</p>	○	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>医療行為が多く介護度の高い利用者の在宅生活が継続され、また生活機能の維持回復を目指した介護を行っている。</p> <p>理念に掲げている内容について、</p> <p>『安心と信頼の確保』①②</p> <p>『ご利用者様に第1の行動』③④</p> <p>『地域連携と人材育成』⑤</p> <p>① 胃ろう、バルン、インスリン、中心静脈栄養</p>			<p>・利用者の在宅生活への支援をしっかりとされていることはありがたいことだと思う。</p> <p>・看護小規模の特性を活かした在宅支援が行えるよう今後もきめ細やかな支援をお願いします。</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		<p>などの医療的管理を必要とする利用者の受け入れができ在宅での生活が維持できている。</p> <p>② 実績なし。</p> <p>③ 体操や口腔体操、PT の指示を受けた職員によるリハビリを提供することで身体機能の維持を図るとともに、栄養状態や水分摂取、服薬管理を徹底し、健康状態の維持に繋がっている。</p> <p>④ 通いの滞在時間や泊りの利用においても各家庭に柔軟に合わせた提供ができています。</p> <p>⑤ 主治医との連携は電話、文書にて行い</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
2	○ サービスの特徴および事業所の 理念等について、職員がその内 容を理解し、実践している	○				<p>・退院直後はご利用者もご家族も不安がことが多いと思うので看多機のメリットを活かしていると評価します。</p> <p>また、事業所内及び職員同士による密な連携を図りながらサービス提供を継続していただけたらと思います。</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		<p>・職員についても、新入職員は入職時のオリエンテーションで説明。また、既存の職員については、定例会議等により周知できている。</p>					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○			<p>・職員の研修を計画して行う事により利用者の記録をしっかりと行う事ができると思う。</p> <p>・資質向上はとても大切だと思う。</p>	<p>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p> <p>✓ 育成計画などを作成していない場合</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・マニュアルに沿って、段階的に技術の習得を行う。</p> <p>・中長期的（1~3年）な育成計画として、初任者研修、実務者研修、介護福祉士資格取得までの計画を職員個々と話し合い調整を図って</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		<p>いる。介護福祉士取得後も、認知症介護実践 研修等の受講を進めている。</p>				<p>・中長期的な育成計画は従業員にとっても心強い取組だと思 います。</p>	<p>は「全くできていない」</p>
4	<p>○ 法人内外の研修を受ける機会 を育成計画等に基づいて確保 するなど、職員の専門技術の 向上のための日常業務以外で の機会を確保している</p>	○				<p>・継続して下さい。</p>	<p>✓ 「専門技術の向上のための日常業務 以外での機会の確保」について、充 足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 月に1回程度のペースで実施。 法人外の研修は、勤務扱いとして日常業務以 外で研修参加への時間を確保。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまりでき て い ない	全く でき て い ない		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				<p>・利用者さんの状況について職員全体で共有していく事は大切なことと思う。</p> <p>・守秘義務をしっかりと守りながらこれからも進めて欲しい。</p> <p>・職員間の情報共有の機会は継続確保をお願いします。</p> <p>なお、申し送りノートの情報共有したという確認はどのように行っていますか？</p>	<p>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき ていない	全く でき ていない		
						<p>→ 申し送り内容はファイルに閉じてあります。ファイルの裏表紙に職員名簿と1か月分の日付の表を貼付しており、把握した職員は表にチェックを入れることで閲覧したことを証明します。また、終礼内容は翌日朝礼で職員当が番制で読み上げることで再周知の機会も確保しています。</p>	
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき ていない	全く でき ていない		
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	○				<p>・運営推進会議の書類は、丁寧に作りこまれており、分かりやすい。</p>	<p>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</p>
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			<p>・子育て中の職員も安心して勤務ができるよう環境を整えられると良いと思う。</p> <p>職員全体で助け運営していけるのが理想だと思うがなかなか難</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得支援制度がある。 ・子育てと仕事の両立という点で可能な限り、勤務時間や曜日についても調整が図れている。 託児所の利用ができる環境である。 ・希望休について制限なく応じられている。 ・職員数はやや不足傾向。子育てと仕事との両立で勤務する職員が多く、当日の欠員が複数名出た場合に、負担増となるが、お互い様であることへの共感理解はあり、全員でカバーし合っている。 				<p>しいのではないのでしょうか。</p> <p>・子育てと仕事の両立について、すばらしい取組だと思います。今後も働きやすい職場環境作りに努めて下さい。</p>	えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できよう工夫されている	○				<p>・今後も継続して下さい。</p> <p>なお、申し送りノートの情報共有の確認はどのように行っているか。</p> <p>→申し送り内容はファイルに閉じてあります。ファイルの裏表紙に職員名簿と1か月分の日付の表を貼付しており、把握した職員は表にチェックを入れることで閲覧したことを証明します。また、終礼内容は翌日朝礼で職員当</p>	<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・申し送りノート、カンファレンス議事録の回覧及び朝礼、終礼での口頭伝達。</p> <p>・情報を共有するための仕組みは整備されていると評価。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
						が番制で読み上げることで再周知の機会も確保しています。	
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○				<p>・事故が起きた時の状況の把握、原因改善をしっかり行い、ヒヤリハットなども報告し合うことが大切だと思う。</p> <p>・安全確保の体制が強化されていると感じます。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられ</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・事故防止・発生時のマニュアルが作成されている。</p> <p>・インシデントレポートにより改善策を設け、迅速に実施。概ね2週間後に改善策に対し、継続、変更の再評価。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
						<ul style="list-style-type: none"> ・出勤前のメディカルチェック実施。 ・対象者を選定し、赤外線センサーによる見守りシステムを活用。特に夜間、夜勤者の心身の負担軽減に繋がっている。 ・使用する車両については、ドライブレコーダー、バックモニターを整備。 	ます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有		○			<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の出席率を向上させる取組が素晴らしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確
						<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアル（連絡網）がある。 ・軽傷に対する医療材料の確保。 ・防災訓練（夜間）を年2回実施。シフトにより参加できない職員を少なくするため、1回の訓練を2日間予定し、出席率を向上させた。 	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	されている	・主治医、既往歴等も含まれた連絡先リスト がある。					化」、「連絡先リストの作成」、「医療 材料などの確保」、「災害時ケアのマ ニユアル化」などが考えられます
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を 含む、利用者等の 24 時間の 暮らし全体に着目したアセスメ ントが行われている	○				看護、介護、ケアマネが一体と なってアセスメントを行っているこ とはとても良い取組だと思いま す。今後も継続して下さい。	✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全 体に着目したアセスメント」の充足度 を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規 模多機能型居宅介護においては、家 族等を含めた 24 時間の暮らし全体
		[具体的な状況・取組内容] ・管理者、ケアマネを中心に看護、介護の両 面からアセスメントを実施。 ・状況が不安定な利用者には、送迎や訪問 時にケアマネが同行し情報収集を細目に行っ ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		<p>・サービス開始直後は、具体的な医療行為が必要ない対象者でも「訪問看護」をスケジュールに組み込み、アセスメントの強化を図っている。</p>					<p>に着目したアセスメントが必要となります</p>
12	<p>○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている</p>	○				<p>・今後も継続して下さい。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・アセスメントの結果は共有できるよう利用者カルテにファイルされている。</p> <p>・訪問看護で得られた情報を通して両職種での共有が図れている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	○				・今後も継続して下さい。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーの作成したケアプランに利用者、家族の希望が反映されている。 ・モニタリングを通してその都度、利用者家族の意向を確認し適宜ケアプランの見直しが行われている。 ・ケアプランをもとに看護、介護計画が定期的作成され利用者、家族へ提示できている。 					
14	○ 利用者の有する能力を最大限	○					✓ 「利用者の有する能力を活かした、心

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護計画書、介護計画書の作成。 ・全面的な食事介助から一部自力摂取が可能となった。また、オムツからトイレ使用に移行できることにより、テープ式オムツからリハビリパンツへ変更できた。 ・車いす移動を短距離でも介助歩行に切り替えるなど、できることを増やしていけるよう働きかけた。 ・「通い」「訪問」のサービス提供時に、陰部や臀部洗浄方法を指導し、自宅での排泄に対し、利用者自身が手技を取得できるよう関わった。 				<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会の中で利用者さんと一緒に洗い物をしたりできることは少しでも参加して行われているとお話がありました。とても良い事だと思いました。 ・利用者の有する能力を引き出す取組が行われていて適切な計画が作成されていると思います。 	<p>身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の 予測と、リスク管理を踏まえた 計画が作成されている	○				<p>・看多機のメリットを十分に活かした取組だと思います。 今後も継続して下さい。</p>	<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○				・素晴らしい取組だと思います。 今後も継続して下さい。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・A D L の変化には介助方法等、各種の福祉用具の見直し検討。 ・家族の介護力等を鑑み、通い、泊りサービスを利用しない日には訪問サービスを組み込むことにより変化の早期発見に繋げている。 					
③ 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を	○				・家族に寄り添った素晴らしい取組だと思います。 今後も継続して下さい。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価し
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず契約前の面談時に在宅介護という観点から、自宅時間の確保について、利用者、家族に 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	含めた居宅での生活状況の 変化を継続的に把握している	<p>は十分な説明を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネの定期訪問とは別に、送迎、訪問時にも生活状況の把握を行っている。 ・訪問時に利用者への家族への接し方や介護の仕方などの情報も得られている。 ・家族の就労、介護力によって通いや泊りが中心になる傾向にあるが、自宅での負担をठीい中に済ませ、送迎時間を調整することで、在宅時間の確保や時間増に繋げている。 					<p>ます</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
④ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治	○				・今後も継続して下さい。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	主治医に対し各報告書を通して定期的に報告が行えている。また、医療機関側からも書類が発行されている。必要に応じて、TEL、FAXでの情報共有も実施できている。 福祉用具事業所とも同様のことが実施できている。					多職種との情報共有について、充足度を評価します
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○				<p>・介護職員にとって看護師のサポートはとても心強いことだと思います。役割分担のスケジュールの作成など良い取組だと思うの</p> <p>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		<p>しやすい環境づくりができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師は介護職員の教育も行う。 ・利用開始直後の訪問サービスは看護師、介護職員の 2 名体制で行うことを一応のルールとし、情報、介入方法等の整理が出来次第、役割を分担した週間スケジュールを再編成している。 				で、今後も継続して下さい。	<p>護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</p>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				<p>・介護職と看護職の綿密な連携の様子が伺えます。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各職種が利用者と同フロアで業務を行うことから、円滑に連携が図れる。対応策の検討も都度行えている。 ・月に 1 度の全体カンファレンスでの意見交換、 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		対応策の検討、議事録による回覧で共有。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○				<p>・処置に同席できる機会があることは介護技術、医療的知識の向上にも役立つと思います。今後も継続して下さい。</p>	<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>
〔4〕利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等に	○				<p>・認知症である利用者の方も理</p>	<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	ついて、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用開始前の面談、見学等の実施。 パンフレットの活用と、24時間サイクル で必要な介護（食事、服薬、排泄、清潔保など）を可視化し説明。 ・「重要事項説明書」「ケアプラン」の同意をもとに理解を得られていると評価。認知症対象者については、文書での理解ではなく、利用毎に詳細を伝えるようにしている。				解しやすいような配慮があり、良いと思います。	を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留	○				・今後も継続して下さい。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・主にケアマネが代表して行っている。 ・医療面での説明は看護師から行うようにし、より					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	理解が深まるよう工夫している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				・家族の安心感に繋がる良い対応と思います。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看護師が自宅訪問または通い利用時に家族に来所してもらい本人を通して、具体的な指導を行う。家族の定着率に応じて指導の回数を調整している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービ	○				・利用者本人の意向確認はどのような工夫をされていますか。 → 既に疾患や後遺症により意	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ケアマネの定期訪問及び送迎時、連絡帳を通し					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	スの提供に反映している	て、家族の意向を確認し、サービス提供に関して、検討し調整を図れている。				<p>思疎通が難しい方でも、ご家族の考えをご本人に直接お伝えします。</p> <p>表情や首の動きなど、観察することをを行います。しかしながら、状態が低下してからの自己決定が難しいことも事実ありますので、ケアマネの定期訪問はもとより、状態悪化、予後についてご本人の意思が確認できる時期に、意向を確認する機会も確保します。</p>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
						<p>その方法として、利用開始時点で「終末期の医療行為について」という書類を作成しています。</p> <p>これは、急変時や救急隊を要請した際にも活用できる延命治療も含め希望するかしないかを予め確認しておく書類です。</p> <p>時間の経過とともに本人、家族の考え方も変わってくることもありますので、定期的に更新しています。</p>	
26	○ 在宅生活の継続の可否を検	○				・円滑な対応ができていると感じ	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	<p>討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている</p>	<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>全体のカンファレンスで利用者毎に現状の確認を行う中、予後についても多職種で検討。検討結果はケアマネを中心に利用者、家族へ説明し共有を図る。また、その際にとるべき方法をいくつか提案し余裕をもって考える時間を設けられるよう努めている。</p> <p>主介護者の介護力、経済力を鑑み、施設入所を検討する場合は、待機期間も考慮して提案、相談を行っている。</p>				<p>ます。</p>	<p>定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>
27			○				

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 評価項目 26 の内容を取組む中で家族と終末期を迎える時期に備えて話を展開し、現時点での家族の考えを聴取する。また、事業所が対応できる内容を伝えるなどのケースは複数ある。				・今後もご家族、利用者に寄り添った対応をお願いします。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生	○				・良い取組だと思います。 今後も継続して下さい。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンス」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 管理者、ケアマネ、看護師、介護職を中心に、退院時カンファの開催を依頼し、情報交換を行					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	活への移行を支援している	<p>い、事業所でのケアの方針に反映。また、看護サマリー、リハサマリーを情報源としている。ご本人にお会いし、退院後の介入についての説明までを実施。</p> <p>更には、家族への備品等の準備も並行して自宅訪問を行い退院日に備える。</p>					<p>スへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</p>
③ 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができてい	○				<p>・ご家族に定期的に意向い変更がないか確認する取組は良い事</p>	<p>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</p> <p>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・主治医が発行する看護指示書を基盤とし、状況に応じて電話連絡により看護師が指示を受け</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	る	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急要請をした際に活用する利用者情報の中に、対応方針を加える。 ・家族には事前に緊急時の医療行為について、希望を聴取し、定期的に意向に変更がないかを確認している。 				<p>だと思えます。今後も継続して下さい。</p>	<p>の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	<p>○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている</p>	○				<p>・即座に対応が可能な体制が</p> <p>取れていることが分かります。今後も継続して下さい。</p>	<p>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」</p> <p>について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
		<p>・緊急連絡については、</p> <p>①主治医の所属する医療機関</p> <p>②協力医療機関である相武台病院</p> <p>③当日の2次救急当番病院リスト</p> <p>の順で対応していく。</p>					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	<p>○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センタ</p>	○				<p>・運営推進会議の中で、包括支援センターの方などのご意見がとても参考になり勉強になっています。</p>	<p>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行って</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>運営推進会議において、事例報告を行い、ご意見をいただく。</p> <p>委員さんより、事例に対する類似ケース、その時</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	一・市区町村職員等への情報 提供や提案が行われている	に活用した社会資源の情報をいただくこともできた。				・運営推進会議を有効活用していると感じられます。	くなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができる方法での情報発信が、迅速に行われている	○				・今後も継続して下さい。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 所定の位置を決め、閲覧できるようにしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき て いない	全く でき て いない		
33	○ サービスの概要や地域において 果たす役割等について、正しい 理解を広めるため、地域住民 向けの積極的な啓発活動が行 われている		○			・看護小規模の認知度を高める ため、今後も積極的な啓発活 動をお願いします。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価 する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域 説明会の実施」などの取組が考えら れます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とし た活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介	○				・今後も看護サービスが必要な	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	<p>護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している</p>	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 訪問看護併設型につき、座間市、相模原市（一部の地域）を提供地域とし実施している。</p>				<p>地域の方へのサービス提供をお願いします。</p>	<p>せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
<p>② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
35	○「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			<p>・該当する方が増えていくと思われ れます。今後は夜間も含めた対応が可能となるよう努めていただ けたらと思います。</p>	<p>✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
36	○「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	<p>・新たな看護師を確保できたこと に併せて、重度利用者の受け入れ体制の構築に期待します。</p>	<p>✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
							✓ 「あまりできていない」～「よくできてい る」は、その「積極性」の視点から、充 足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要 介護者を受け入れることができ る体制が整っており、積極的に 受け入れている				○	・地域における高齢者ケアの担 い手として期待したい部分です。 昨年は看護師の増員も図れて いるようですので、今後の体制 構築に期待します。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足 度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っ ていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできてい る」は、その「積極性」の視点から、充 足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い ない	全く でき て い ない		
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	○				・今後も継続して下さい。	<p>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</p> <p>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがいない場合は、「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>急性期病棟や地域包括ケア病棟との連携から医療的ニーズも含めた、退院後の在宅生活を支援しており、地域包括ケアシステムの構築方針や計画にも理解できている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、 特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				・今後も地域全体に対しサービス提供していただけたらと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の 関係者に対し、必要に応じて		○			・今後も交流継続をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域におけ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
	課題提起や改善策の提案等 が行われている	などにも触れ、意見交換の場が得られた。 他事業所の取り組みなども聞く機会となった。					る課題や改善策を関係者に対して提 案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合 は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに 対し、その介護力の引き出しや向 上のための具体的な取組等が 行われている			○	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>家族に対する介護の指導、助言についてはでき ていると評価。近隣住民に対する関わりは送迎 や訪問時に、利用者の存在を近隣住民が認知 していれば、「いってらっしゃい」「おかえり」など利 用者を介して挨拶をするケースもある。</p>	<p>・地域に開かれた活動を行える よう地域との交流機会を増やし ていただけたらと思います。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護 力の引き出しや向上のための取組」に ついて、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係者 全員の介護力を最大限に高めること により、在宅での療養生活を支えてい</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
							<p>くための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 短期目標が概ね達成。長期目標については、病状進行や自宅内での転倒により一部達成できなかった方がいる。</p>	<p>・前回の長期目標の達成度は1/3程度でしたが、今回は長期目標も含め2/3程度について達成していると解釈してよろしいでしょうか。</p> <p>→はい、その通りです。</p>	<p>✓ 「計画目標の達成」について、評価します</p>
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されて</p>		<p>✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
	<p>およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている</p>	<p>いる 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 単独の訪問看護以外に状態変化があった際には、ケアマネの訪問に看護師が同行することにより具体的な話もできているため、安心感が得られていると評価。</p>	<p>・「まさみ」と書かれている車が走っているのをよく見かけます。</p> <p>利用者さん宅に訪問されているんだと、本当にご苦労様です。</p> <p>・今後も継続して下さい。</p>	<p>およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>
44	<p>○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得</p>	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない</p>	<p>・今後も体制を整えていつでも対応できるような準備を進めていただけたらと思います。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	<p>られている</p>	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>利用開始から関係性を構築するなかで、ケアマネや看護師が予後について触れていく機会ほどの利用者に対しても行っている。終末期における状態変化、必要となる医療、介護をイメージしやすいよう説明。最後を医療機関でと具体的に決めている方もいれば、現時点で死期が迫っていないことから、判断がつかない対象者が多い。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」